

広島教区本部事務局

DIOCESE OF HIROSHIMA

Chancery Office

〒730-0016

4-42 Nobori-cho

広島市中区幟町 4-42

Naka-ku Hiroshima

Tel. (082)221-6017

730-0016 JAPAN

Fax. (082)221-6019

プレスリリース

パックス・クリスティ米国支部の巡礼団と広島被爆者6団体

「原爆投下に対する謝罪表明と和解に向けた対話集会」

2024年3月10日（日）11:00～12:00 世界平和記念聖堂（広島カトリック教会）

カトリック教会の国際的な平和団体であるパックス・クリスティ（Pax Christi）米国支部の巡礼団が、2024年3月に、広島と長崎を訪問し、それぞれの被爆者団体と面会し、和解に向けた市民レベルでの対話集会を持ちます。

広島においては、3月10日（日）の11時より、カトリック広島教区の世界平和記念聖堂（広島市中区幟町4-42）で、PC米国支部の巡礼団（13人）が、広島の被爆者6団体の臨席を得て、広島すべての被爆者（朝鮮半島出身者の被爆者などを含む）と広島の市民の方々に向け、1945年8月6日の米軍による原爆投下に対する市民レベルの謝罪表明を行います。

同巡礼団は、昨年8月8日に発信された「核問題に憂慮する米国の市民ならびに米国の平和団体から日本の市民への公開書簡—日本に対する原爆投下から78周年という節目を迎えて—」(→添付資料参照)の冒頭で言及されている原爆投下に対する謝罪の意向を、直接に伝える目的を持っています。

3月巡礼になったのは、被爆者が原爆犠牲者の慰霊などで多忙な8月初旬を避けるとともに、キリスト教のもっとも大きな祝いである復活祭（4月初旬）の準備行事に併せたからです。カトリック教会において2月半ば～3月は、復活祭に向けた準備期間で、自分たちの罪を認めて回心に励み、神と隣人にゆるしを願い、償いを実行する季節とされていることに関連しています。

同巡礼団は3月10日、「ゆるしと和解を願う平和祈願ミサ」（日曜礼拝）に、まず参加してから、被爆者6団体との対話集会で謝罪を表明します。その上で、両者は米国政府に対して公式な謝罪を求め、核兵器の廃絶に向けて良きパートナーとして協力していくことを誓い、共同宣言を発信します。

その後、広島カトリック会館で、懇親会（昼食会）を開き、親交を深めることにしています。

行事次第

9:30~10:30 ゆるしと和解を願う平和祈願ミサ

11:00 原爆投下に対する謝罪表明と和解に向けた対話集会

<参加者>

PC米国支部の巡礼団13人、教会関係者

広島被爆者6団体の代表6人

広島県原爆被害者団体協議会（箕牧智之理事長）◇広島県原爆被害者団体協議

会（佐久間邦彦理事長）◇韓国原爆被害者対策特別委員会（権俊五委員長）

◇広島県朝鮮人被爆者協議会（金鎮湖会長）◇広島県労働組合会議被爆者団体

連絡協議会（神崎昭男会長）◇広島被爆者団体連絡会議（田中聰司事務局長）

一般参加者

<司会>（渡部朋子） ◎通訳付

1-黙とう

2-開会あいさつ(カトリック広島教区司教・白浜満)

3-参加者の紹介

4-今回の巡礼の趣旨説明（PC米国支部巡礼団の1人）

5-謝罪の意を伝える声明の朗読（英文：PC米国支部巡礼団の代表、和文：通訳者）

6-謝罪を受けての返礼のあいさつ（箕牧智之） 握手

7-共同宣言の朗読（和文：田中聰司 英文：PC米国支部巡礼団の1人）

8-結びのあいさつ（佐久間邦彦）

9-記念撮影

10-閉会

【記者会見】（30分程度）

◎代表質問+数社の質問（時間調整で対応）をお願いします。通訳あり。

◎「謝罪声明」「共同宣言」の資料は、当日、お渡しします。

12:00 懇親会（広島カトリック会館 多目的ホール）

問い合わせ先：カトリック広島教区本部事務局（TEL）090-7985-5291（白浜）

082-221-6017（白浜）

広島被爆者団体連絡会議（TEL）080-3884-3541（田中）